



セカンドサーキュラー

一般社団法人

文化財保存修復学会 第47回大会 於 富山

2025年6月14日(土) / 6月15日(日)

富山国際会議場(富山市大手町1番2号)

主 催 文化財保存修復学会

文化財保存修復学会第47回大会および2025年度総会のご案内

文化財保存修復学会員の皆様におかれましては、益々ご活躍のこととお慶び申し上げます。

第47回大会および2025年度総会は、富山にて開催されます。ここ富山は、奥に聳える立山連峰、山から海岸へ広がる富山平野、それらの陸地に抱かれた富山湾など、大地から海までの豊かな自然に育まれてきた土地です。そうした自然環境や、浄土真宗の展開、加賀藩・富山藩による統治など、時代ごとの社会環境のもとで、当地の人々は、暮らしを営み、文化を生み出してきました。

一方で、豊かな土地はさまざまな災害にも見舞われてきました。豊富な河川は多くの水害も起こしてきました。2024年元日の能登半島地震では県内にも大きな被害が出ました。近年、文化財と災害との関係についても、さまざまな議論や活動がなされているなか、富山において本学会の大会および総会が開催されるのは、意義深いことと思います。

皆様には、この地の風土を感じながら、文化財の保存修復のあり方をめぐって、活発なご議論・ご交流をいただければ幸いです。

2025年3月24日

一般社団法人文化財保存修復学会

記

1. 大会（研究発表）

月 日：6月14日（土）・15日（日）

会 場：富山国際会議場（富山市大手町1番2号）

本大会は無料の託児所をご用意いたします。たくさんのご参加をお待ちしております。

託児所は事前申込み制となります。

申込み方法は大会 HP をご覧ください。

2. 総会

月 日：6月15日（日）11:00～12:00

会 場：富山国際会議場 メインホール（3F）

総会出欠届：総会に出席できるのは名誉会員、正会員です。名誉会員、正会員の方は4月中旬頃に郵送する出欠届を6月2日（月）までにご投函ください。欠席の場合は必ず委任状に署名・捺印のうえ、送付をお願いいたします。

※総会終了後、学会表彰授与式を行います。

3. 特別行事

シンポジウム 6月13日（金）＊詳細については大会 HP をご参照ください。

「被災文化財の修理・修復を考える」

会 場：富山大学黒田講堂

特別講演 6月14日（土）16:50～17:30

「文化財の未来図」 村上 隆氏（高岡市美術館長）

会 場：富山国際会議場 メインホール（3F）

特別ポスターセッション 6月14日（土）・15日（日）

会 場：富山国際会議場 多目的会議室（2F）

4. 機器等展示（出展ブース確定順に大会 HP に記載）

月 日：6月14日（土）・15日（日）

会 場：富山国際会議場 多目的会議室（2F）、ホワイエ（3F）

5. 企業セミナー 文化財防災センター「文化財を災害からまもる」

月 日：6月14日（土）・15日（日）

会 場：富山国際会議場 特別会議室（2F）

6. 懇親会（※会場の参加人数に限りがございますので、申込みは先着順といたします。）

会 場：富山県民会館 バンケットホール（富山市新総曲輪4-18 8階）

会 費：事前振込 10,000 円（一般）5,500 円（学生）／当日支払い 15,000 円（一般）7,500 円（学生）

7. 参加費登録

参加費	事前振込	当日
会員（一般）	6,000 円	10,000 円
会員（学生）	3,000 円	6,000 円
非会員（一般）	11,000 円	14,000 円
非会員（学生）	4,000 円	7,000 円
賛助会員 4 人まで（1 団体）	各 6,000 円	各 10,000 円
5 人目から	各 7,000 円	各 13,000 円

1) 事前登録期間：6月1日（日）登録期間を過ぎますと、当日での受付となります。

2) **本大会より、参加申込は WEB でのお申込のみとなります。**大会 HP の「参加申込み」頁の申込みフォームよりお申込みください。

また、クレジットカード等でのお支払いとなりますので、ご注意ください。

当日受付も、クレジットカード等でのお支払いとなります。

現金でのお取り扱いはありませんので、あらかじめご了承ください。

大会 HP はこちら▶



3) 懇親会に参加される方は、懇親会費も併せてお払込みください。

4) 払込まれた参加登録費、懇親会費は返金いたしませんのでご了承ください。

8. ご注意

・ポスター発表は6月14日（◆ P001～P057）と6月15日（◇ P058～P114）に分かれます。

・日にちをお間違えないように、また、掲示作業、撤去作業は必ず所定の時間内（6月14日（土）9:00～（1日目掲示）／14:30～17:00（撤去）／17:00～18:00（2日目掲示）、6月15日（日）9:00～（2日目掲示）／14:20～15:30（撤去））に終わるようにご協力をお願いします。

・ゴミは各自でお持ち帰りいただくようご協力をお願いします。

研究発表プログラム

(◎代表研究者)

第1日目 6月14日(土)

9:00 開場・ポスター (◆ P001 ~◆ P057) 掲示作業
9:45 開会挨拶

セッションⅠ

座長：杉山恵助（東北芸術工科大学）、早川典子（東京文化財研究所）

10:00~10:20 劣化に伴う損傷が甚大な仕覆の保存修理ならびに活用方法に関する事例報告
◎池田和彦（株式会社修護）、玉井あや（根津美術館）、沢田むつ代（東京国立博物館）
井上さやか（株式会社修護）、米倉乙世（女子美術大学）、西田宏子（根津美術館）

10:20~10:40 正倉院染織品におけるゲル・クリーニングの応用
◎片岡真純（宮内庁正倉院事務所）、永田大輔（宮内庁正倉院事務所）

10:40~11:00 黄変、脆化、異臭：服飾文化財に潜む硝酸セルロース・酢酸セルロース問題と
収蔵法改善への取り組み
◎佐藤萌（東京国立博物館）、油井薫（京都服飾文化研究財団）、塚田全彦（東京藝術大学）

11:00~11:10 休憩

セッションⅡ

座長：相澤邦彦（ヤマト運輸株式会社）、中村力也（宮内庁正倉院事務所）

11:10~11:30 木漆工芸品に用いられる鉛の腐食事例と保存課題
◎野中昭美（東京国立博物館）、宮田将寛（東京国立博物館）、佐藤萌（東京国立博物館）

11:30~11:50 パラロイド™ B-72 を用いたガラス作品の補填
—東京都庭園美術館所蔵《有翼の女性像》の修復事例—
◎北野珠子（東京藝術大学）、牟田行秀（東京都庭園美術館）
栗原裕幸（株式会社丹青ディスプレイ）、松永亮太（甲南女子大学）

11:50~12:10 文化財の梱包資材としての綿の特性に関する基礎的研究
◎和田浩（東京国立博物館）

12:10~13:10 休憩

13:10~14:20 ポスター発表

14:20~14:30 休憩

セッションⅢ

座長：池田和彦（株式会社修護）、貴田啓子（東京藝術大学）

14:30~14:50 展示中の掛軸形状の3D計測：異なる温湿度環境、展示期間が掛軸に物理的に与える影響の調査
◎木川りか（九州国立博物館）、田中麻美（九州国立博物館）、渡辺祐基（九州国立博物館）
和泉田絢子（九州国立博物館）、岡岩太郎（株式会社岡墨光堂）、早川典子（東京文化財研究所）
鷲頭桂（国立歴史民俗博物館）、小泉恵英（九州国立博物館）、島谷弘幸（皇居三の丸尚蔵館）

14:50~15:10 マーク・ロスコの紙に描かれた絵画の保存修復
◎西尾喜行（ニシオ・コンサーベーション・スタジオ）

15:10~15:30 紙資料の自然劣化を予測する加速劣化試験法の評価：紙中の平衡水分条件に基づく初期強度の推定
◎李ガン（東京学芸大学）、江前敏晴（筑波大学）、稲葉政満（東京藝術大学）

15:30~15:50 レーザースペックルイメージング (LSI) によるアクリル塗膜の耐溶剤性評価
◎小野慎之介（東洋美術学校）、高田知咲（東洋美術学校）

15:50~16:00 休憩

セッションⅣ

- 座長：末森薫（国立民族学博物館）、間渕創（国立文化財機構文化財活用センター）
- 16:00～16:20 シリア文化遺産保存へのとりくみー空爆と盗難をうけたアイン・ダーラ遺跡
◎谷口陽子（筑波大学）、サーリ ジャンモ（名古屋大学博物館）、常木晃（筑波大学）
渡部展也（中部大学）、五十嵐あゆみ（フリーランス・イラストレーター）、増田久美（増田絵画修復工房）
西村明子（保存修復専門家）、及川崇（おいかわ美術修復）、田代恵美（筑波大学）、牧野真理子（帝京大学文化財研究所）
- 16:20～16:40 廃寺に伴う所蔵文化財への対応ー山辺町世尊寺の例をもとに
◎渡邊真吾（有限会社東北古典彫刻修復研究所）、牧野隆夫（有限会社東北古典彫刻修復研究所）、
石井智也（有限会社東北古典彫刻修復研究所）、柴田拓修（達磨寺）、武田忍（山形県山辺町教育委員会）
新目巖（山形県山辺町教育委員会）、村山賢司（山辺町文化財保護審議会）、武田美和（山辺町文化財保護審議会）、
高橋洋二（伝統建築調査修復舎）
- 16:40～16:50 休憩
- 16:50～17:30 特別講演「文化財の未来図」村上 隆氏（高岡市美術館長）
- 14:30～17:00 ポスター（◆ P001 ～◆ P057）撤去作業
- 17:00～18:00 ポスター（◇ P058 ～◇ P114）掲示作業
- 18:00 懇親会

第2日目 6月15日(日)

- 9:00 開場・ポスター（◇ P058 ～◇ P114）掲示作業

セッションⅤ

- 座長：日高真吾（国立民族学博物館）、李ガン（東京学芸大学）
- 9:50～10:10 木島櫻谷遺品画材における赤および橙色顔料の化学構造
◎高林弘実（京都市立芸術大学）、紀芝蓮（東京文化財研究所）、緒方規矩也（京都市産業技術研究所）、
橘洋一（京都市産業技術研究所）、廣岡青央（京都市産業技術研究所）
- 10:10～10:30 沈南蘋、日本南蘋派の用いた白色顔料についてー大英博物館所蔵作品を中心にー
◎角田牧子（オックスフォード大学）
- 10:30～10:50 MA-XRF、RIS が絵画分析にもたらす面情報の解釈と課題
◎神庭信幸（東京藝術大学）、朴玲鏡（東京藝術大学）、山本雅一（株式会社アルファジャパン）
- 10:50～11:00 休憩
- 11:00～12:00 総会
- 12:00～13:00 休憩
- 13:00～14:10 ポスター発表
- 14:10～14:20 休憩

セッションⅥ

- 座長：野中昭美（東京国立博物館）、和高智美（合同会社文化創造巧芸）
- 14:20～14:40 歴史的木造建造物の保存修復と樹脂人工木材
ー重文・箱木家住宅の柱の処置と44年後の状態調査ー
◎西浦忠輝（国土舘大学）、千種浩（神戸市文化財課）
川上厚志（神戸市文化財課）、中里壽克（東京文化財研究所）
- 14:40～15:00 秦野市・鶴巻下部大山灯籠行事の「覆屋」について
◎朽津信明（東京文化財研究所）
- 15:00 閉会
- 14:20～15:30 ポスター（◇ P058 ～◇ P117）撤去作業

ポスターセッション

(◎代表研究者)

第1日目

6月14日(土)

- ◆ P001 モントリオール美術館所蔵「紙本金地著色 女房三十六歌仙扇面貼交屏風」の修理報告
裏貼紙の復元新調について
◎橋本悠(株式会社修美)、金旻貞(株式会社修美)、中井千章(株式会社修美)、大野恭子(株式会社修美)
宇都宮正紀(株式会社修美)、加藤雅人(東京文化財研究所)
- ◆ P002 丸紅株式会社所蔵「紅繻子地浜松花丸雪持笹模様縫箔」(江戸時代)の修復について
◎田中淑江(共立女子大学)、高橋由子(共立女子大学)、後藤純子(共立女子大学)、古川貴雄(共立女子大学)
秋葉まゆ(共立女子大学)、山中美樹子(共立女子大学)
- ◆ P003 花蝶図存星長盆の保存修復と科学分析
◎松本卓己(鶴見大学)、高橋奈(弘前市立博物館)、矢島律子(鶴見大学)
- ◆ P004 国立アイヌ民族博物館収蔵「蝦夷国風図絵」の修理について
◎大江克己(国立アイヌ民族博物館)、横堀篤代(株式会社文化財保存)、田中梨絵(株式会社文化財保存)
鳥越俊行(奈良国立博物館)、加藤沙弥(奈良国立博物館)、霜村紀子(国立アイヌ民族博物館)
- ◆ P005 文化財保存学に基づく鍔絵の保存修復
◎前川佳文(東京文化財研究所)、ダニエラ・マリア マーフィー(文化協会バスティオーニ-フィレンツェ)
シモーナ カレッチャ(文化協会バスティオーニ-フィレンツェ)
ステファニーア フランチェスキーニ(文化協会バスティオーニ-フィレンツェ)
- ◆ P006 大英博物館における和本の保存修復-修復処置の展開と方針決定-
◎楠京子(大英博物館)、マティアス ソティラス(大英博物館)
- ◆ P007 さいたま市岩槻人形博物館における人形修復の取り組み
◎足立収一(さいたま市岩槻人形博物館)、桐原瑛奈(さいたま市岩槻人形博物館)
新井榛名(さいたま市岩槻人形博物館)、長井まみ(さいたま市岩槻人形博物館)
蟹沢真弓(さいたま市岩槻人形博物館)、矢島璃子(さいたま市岩槻人形博物館)
- ◆ P008 川崎市民ミュージアム所蔵 からくり人形の修復報告
◎桐原瑛奈(文化財保存支援機構)、足立収一(文化財保存支援機構)
江間千香子(文化財保存支援機構)、高橋志歩(文化財保存支援機構)
- ◆ P009 金箔貼りグランドピアノに描かれた油彩画修復報告
◎多田智(有限会社山領絵画修復工房)、和田玲子(有限会社山領絵画修復工房)
- ◆ P010 鉛を用いた現代美術作品の保存修復:アンゼルス・キーファー《メランコリア》の事例
◎渡抜由季(福岡市美術館)、比佐陽一郎(奈良大学)
及川崇(おいかわ美術修復)、山崎正彦(光明理化学工業株式会社)
- ◆ P011 ヨルダンハシュミテ王国ウムカイス遺跡の西円形劇場修復調査報告-円形劇場の修復状況について-
◎松本健(国士舘大学イラク古代文化研究所)、小野勇(国士舘大学)、西浦忠輝(国士舘大学イラク古代文化研究所)
- ◆ P012 世界遺産カップドキア・聖シメオン教会の壁画の保存修復:
デジタルトーンングを補助とした補彩の試み
◎成田朱美(愛知県立芸術大学文化財保存修復研究所)、高橋香里(SOMPO 美術財団)
ムスタファ トップテペ(ネヴシェヒル保存修復研究センター)
ヤシャール ブルムシュ(ネヴシェヒル保存修復研究センター)、山根萌々花(筑波大学)
菅原裕文(金沢大学)、ハティージェ イルディズ(ネヴシェヒル保存修復研究センター)、谷口陽子(筑波大学)
- ◆ P013 石灰岩製石柱の解体修理:安祥寺蟠龍石柱の事例
◎降幡順子(京都国立博物館)、宮川禎一(京都国立博物館)、及川崇(おいかわ美術修復)
- ◆ P014 昭和初期撮影映像フィルムの現地保存への取り組み
◎山田卓司(龍谷大学)、水谷知生(奈良県立大学)
松田度(奈良県大淀町教育委員会)、藤本圭子(奈良県上北山村地域おこし協力隊)
- ◆ P015 高知県まきでら長谷寺蔵 木造仁王像の保存修理と情報発信
― 修理現場での企画開発と PR 活動の意義・課題 ―
◎吉田沙織(よしだ造佛所)

- ◆ P016 三次元測定を活用した保存修理報告―木造獅子像の玉眼新補について―
◎明珍素也（株式会社明古堂）、奥田重俊（株式会社明古堂）、河原佳幸（株式会社明古堂）
- ◆ P017 地域文化財の保存修復に関する継続的活動 - 山形県高畠町玉龍院三十三観音像の保存修復を通じて -
◎岡田靖（東京藝術大学）、足立収一（東京藝術大学）、山田亜紀（東京藝術大学）、荒川湧祐（東京藝術大学）
鈴木温（東京藝術大学）、千綿深由（東京藝術大学）
- ◆ P018 チベット仏画に使用された非伝統的彩色材料 ―「黒唐財寶天王像」の科学的調査を通して―
◎蕭一鳴（帝京大学）、藤澤明（帝京大学文化財研究所）
- ◆ P019 ハイパースペクトルイメージング調査の有効性と活用方法の考察
- 改変された油彩画の光学的調査 -
◎上野淑美（横浜美術大学）、鳥越義弘（横浜美術大学）、渡邊千尋（横浜美術大学）
青山浩之（環境リサーチ株式会社）、山口大裕（環境リサーチ株式会社）、飯田哲哉（環境リサーチ株式会社）
- ◆ P020 ハイパースペクトルカメラを用いた可視域から近赤外域における彩色材料の反射分光分析
◎紀芝蓮（東京文化財研究所）、寺島海（東京文化財研究所）、犬塚将英（東京文化財研究所）
- ◆ P021 近赤外分光法による紙中でのシクロドデカンとトメントールの昇華挙動モニタリング
◎岸創哉（筑波大学）、小野慎之介（東洋美術学校）
- ◆ P022 AI による皮革文化財の動物種識別精度に影響する要因の検証
◎飯岡稚佳子（東京藝術大学）、田口智子（東京藝術大学）、カリーナ レンガー（ドイツ皮革博物館）
ヴァネッサ シャウアー（ドイツ皮革博物館）、永田雅人（横浜国立大学）、岡嶋克典（横浜国立大学）
- ◆ P023 パブロ・ピカソ作《小さな丸帽子を被って座る女性》の非破壊光学調査
◎阿部善也（東京電機大学）、下濱一稀（東京電機大学）、村串まどか（明治大学）
浅川真実子（art.u 合同会社）、高嶋美穂（国立西洋美術館）
- ◆ P024 ポルトガルに伝世した中文銘 IHS 時絵螺鈿書見台の CT 調査
◎鳥越俊行（奈良国立博物館）、小林公治（東京文化財研究所）
ウルリケ ケルバー（リスボン新大学美術史研究所）、加藤沙弥（奈良国立博物館）
- ◆ P025 東京藝術大学蔵《牛皮華鬘残欠》の熟覧調査および科学調査に関する報告
◎小松拓也（東京藝術大学）、寺島海（東京藝術大学）、貴田啓子（東京藝術大学）、荒井経（東京藝術大学）
- ◆ P026 AI を活用した X 線 CT 画像解析の基礎的研究
◎加藤沙弥（奈良国立博物館）、今津節生（奈良大学）、山崎隆之（仏像修復研究家）
- ◆ P027 藤枝市・若王子古墳群出土斑点文トンボ玉の非破壊オンサイト化学組成分析
◎村串まどか（明治大学）、久永雅宏（大阪府立近つ飛鳥博物館）、岩木智絵（藤枝市文化財課）
- ◆ P028 バソフェナントロリン試験紙を用いた黒漆の判別
◎倉島玲央（東京文化財研究所）、早川典子（東京文化財研究所）
鷺野谷一平（目白漆芸文化財研究所）、室瀬智弥（目白漆芸文化財研究所）
- ◆ P029 近世日本彩色資料に用いられた黄色色材の判別方法について
◎大和あすか（東京文化財研究所）、一宮八重（東京藝術大学）、西田典由（東京文化財研究所）
- ◆ P030 鉄燈籠の 3D データからの表面絵柄の画像抽出
◎真柄亮太（株式会社サビア）、伊住禮次郎（茶道資料館）、谷口正明（株式会社サビア）、奥村幸司（株式会社サビア）
- ◆ P031 金光院木造聖観世音立像の三次元計測とデジタル形状復元
◎岡本篤志（大手前大学史学研究所）、杉崎貴英（帝塚山大学）
- ◆ P032 「木造」を原型とする「鉄造」阿弥陀如来像の 3D データによる形状の差異
◎山田修（奈良県立大学）、宮崎甲（千葉大学）、三枝一将（東京藝術大学）、松本隆（沖縄県立芸術大学）
米沢玲（東京文化財研究所）、藤曲隆哉（合同会社藤白彫刻研究所）、原浩史（慶應義塾志木高等学校）
- ◆ P033 芸術実践によるラダック・マンガユ寺の壁画表現と構成の再現
◎正垣雅子（京都市立芸術大学）、末森薫（国立民族学博物館）、寺井淳一（国立民族学博物館）
菊谷竜太（高野山大学）、翟建群（京都市立芸術大学）
- ◆ P034 ラダック・マンガユ寺における寺院空間の記録と隠れた壁画の再発見
◎末森薫（国立民族学博物館）、正垣雅子（京都市立芸術大学）、寺井淳一（国立民族学博物館）
スカルマ ギュルメット（ジュレー・ラダック）、クエンティン ディヴァース（フランス国立科学研究センター）

- ◆ P035 奈良博「扇面画帖」調査による扇面画金箔地技法の試論
◎阪野智啓（愛知県立芸術大学文化財保存修復研究所）、安井彩子（愛知県立芸術大学文化財保存修復研究所）
佐野史佳（愛知県立芸術大学）
- ◆ P036 早稲田大学會津八一記念博物館蔵「法華経絵」調査報告
◎鴈野佳世子（帝京大学）、藤澤明（帝京大学文化財研究所）、岡田靖（東京藝術大学）
須澤芽生（東京藝術大学）、山本聡美（早稲田大学）、奥間政作（早稲田大学會津八一記念博物館）
柿澤香穂（早稲田大学會津八一記念博物館）、村田光樹（早稲田大学會津八一記念博物館）
- ◆ P037 悉皆調査と再現実験による縮緬版画の特徴に関する報告
◎一宮八重（東京藝術大学）、大和あすか（東京文化財研究所）
宮寺雷太（東京藝術大学）、三井田盛一郎（東京藝術大学）
- ◆ P038 久保惣記念美術館蔵「駒競行幸絵巻」に使用された黒色表現の技法について
◎劉夢儒（京都市立芸術大学）、竹浪遠（京都市立芸術大学）
- ◆ P039 運筆の一考察 一幕末から昭和初期の各画家における使用筆を中心に一
◎林静佳（京都市立芸術大学）、竹浪遠（京都市立芸術大学）
- ◆ P040 椿椿山《玉堂富貴図》（泉屋博古館所蔵）における彩色材料・技法
◎高畑理乃（京都市立芸術大学）、高林弘実（京都市立芸術大学）
宇野茂男（京都市立芸術大学）、竹浪遠（京都市立芸術大学）
- ◆ P041 正倉院に伝わる漆金薄絵盤（香印座）の構造および彩色調査
◎鶴真美（宮内庁正倉院事務所）、吉田卓爾（宮内庁正倉院事務所）、鳥越俊行（奈良国立博物館）
加藤沙弥（奈良国立博物館）、中村力也（宮内庁正倉院事務所）
- ◆ P042 江戸時代の黒染め染織品に使用された鉄媒染の同定
◎佐藤萌（東京国立博物館）、一宮八重（東京藝術大学）
倉島玲央（東京文化財研究所）、早川典子（東京文化財研究所）
- ◆ P043 清代螺鈿工芸における煮貝法に関する研究と実験的検証
一蚌（イシガイ科に属する淡水二枚貝）を中心に一
◎胡詩琳（東京藝術大学）、松本達弥（東京藝術大学）
- ◆ P044 乾性油を媒剤に描かれた15世紀イタリア絵画の技法の考察と再現
一コズメ・トゥーラ作《ムーサ（カリオペ？）》の模写を通して一
◎朴玲鏡（東京藝術大学）、北野珠子（東京藝術大学）、越川倫明（東京藝術大学）
岡田靖（東京藝術大学）、作間美智子（東京藝術大学）
- ◆ P045 フルーニング美術館および国立西洋美術館所蔵・フランドル聖人伝板絵における技法・材料調査
◎高嶋美穂（国立西洋美術館）、吉田峻也（東京電機大学）、村串まどか（明治大学）
寺島海（東京藝術大学）、浅川真実子（art.u 合同会社）、阿部善也（東京電機大学）
- ◆ P046 近世群像仏像の制作技法の研究 - 善寶寺五百羅漢像 X 線 CT 調査の成果 -
◎笹岡直美（東北芸術工科大学）、伊藤幸司（東北芸術工科大学）
- ◆ P047 奈良桜井市北山地区興隆寺木造地藏菩薩立像の CT 解析を通じた復元制作に関する研究
◎劉雨桐（東京藝術大学）、岡田靖（東京藝術大学）、大山幹成（東北大学植物園）
門叶冬樹（山形大学総合研究所）、長佐古真也（東京都埋蔵文化財センター）
佐藤悠登（東京都埋蔵文化財センター）、鈴木伸哉（東京都埋蔵文化財センター）
- ◆ P048 本山慈恩寺大日如来坐像の科学調査研究 一造像材料及び構造技法を中心に一
◎劉常民（東京藝術大学）、岡田靖（東京藝術大学）、山田修（東京藝術大学）、大山幹成（東北大学植物園）
- ◆ P049 X 線 CT を活用した刀装金具の制作手法の解明
◎相原健作（東京大学）、原田一敏（ふくやま美術館）、成井美穂（文化学園大学）
- ◆ P050 藁灰汁を用いた絹織物の精練について
◎佐藤麻衣子（株式会社坂田墨珠堂）、坂田雅之（株式会社坂田墨珠堂）、谷口正（鳥居株式会社）
黒川清夏（鳥居株式会社）、田中淳史（文化財修理表装製継承協会）、福本久人（福本染工）、松井渉（株式会社松井機業）
- ◆ P051 凝灰岩の促進劣化評価方法の検証
◎佐野勝彦（株式会社ディ・アンド・ディ）、谷口陽子（筑波大学）、渡邊晋生（三重大学）
伊庭千恵美（京都大学）、堤隆（明治大学）

- ◆ P052 銀の劣化機構に関する調査及び劣化防止手法の開発
◎藤田聖矢（株式会社足柄製作所）、石井照光（株式会社足柄製作所）
- ◆ P053 大津壁表面の硫化物の付着に伴う劣化メカニズム
◎宇野朋子（武庫川女子大学）
- ◆ P054 藍染染色布の熱劣化によるインジゴの分解と保存紙の蛍光特性の変化
◎奥島希子（東京藝術大学）、塚田全彦（東京藝術大学）
- ◆ P055 還元性硫黄化合物の金属の腐食に対する影響
◎手島菜摘（東京藝術大学）、塚田全彦（東京藝術大学）
- ◆ P056 市民と博物館の協業による地域の文化財保存・継承活動の検討
- 四王寺山三十三石仏の現況調査の事例から -
◎加藤和歳（九州歴史資料館）、菜畑健治（四王寺山勉強会）、藤田百合子（四王寺山勉強会）
- ◆ P057 海外インターンシップ報告 - スミソニアン研究機構 米国立アジア美術館東洋絵画修復室において -
◎上田二郎（スミソニアン研究機構 米国立アジア美術館）、中原瑠星（東北芸術工科大学）
丹羽秋子（スミソニアン研究機構 米国立アジア美術館）、杉山恵助（東北芸術工科大学）

第2日目

6月15日(日)

- ◇ P058 キルギス共和国アク・ベシム遺跡より出土した銅合金製品資料に使用された未知の産地材料
◎藤澤明（帝京大学文化財研究所）、三浦麻衣子（帝京大学文化財研究所）
バキット アマンバエヴァ（キルギス共和国国立科学アカデミー歴史文化遺産研究所）
- ◇ P059 中央アジア仏教塑像の石灰・石膏混合材料の使用に関する考察
◎山根萌々花（筑波大学）、黒澤正紀（筑波大学）、大塚裕一（平山郁夫シルクロード美術館）
前田たつひこ（平山郁夫シルクロード美術館）、谷口陽子（筑波大学）
- ◇ P060 チタニウムホワイトの日本における普及について
◎作間美智子（東京藝術大学）
- ◇ P061 第二次世界大戦中に防空対策として実施された「偽装」に用いられた黒色塗料に関する研究
◎大西功紗（龍谷大学）、北野信彦（龍谷大学）、本多貴之（明治大学）
加藤修治（文化財建造物保存技術協会）、田村琢（文化財建造物保存技術協会）
- ◇ P062 平澤屏山アイヌ絵に用いられた緑色彩色材料について
◎古田嶋智子（国立アイヌ民族博物館）、赤田昌倫（国立アイヌ民族博物館）
大江克己（国立アイヌ民族博物館）、霜村紀子（国立アイヌ民族博物館）
- ◇ P063 ボローニャ手稿に基づくヴェルディグリ（緑色顔料）生成の研究
◎成田円香（東北芸術工科大学）、中右恵理子（東北芸術工科大学）、伊藤幸司（文化財保存修復研究センター）
- ◇ P064 キノン架橋による膠の耐水性と抗菌性の向上
◎山内章（桃山学院大学）、山内朝夫（大阪産業技術研究所）、山内悠生（天野山文化遺産研究所）
- ◇ P065 墨用煤の性状及び古典的膠の製造方法改良に関する研究
◎宇高健太郎（東京文化財研究所）
- ◇ P066 千葉・真間山弘法寺所蔵の四天王像に用いられた彩色材料
◎島津美子（国立歴史民俗博物館）、山田美季（東京藝術大学）
- ◇ P067 近世社寺文化財建造物における塗装彩色材料の使い分けに関する研究
◎北野信彦（龍谷大学）、大西功紗（龍谷大学）、生駒萌（龍谷大学）、前川実穂（龍谷大学）
本多貴之（明治大学）、倉島玲央（東京文化財研究所）、犬塚将英（東京文化財研究所）
- ◇ P068 江戸後期の絵画および建造物にみられる鉛を含む
コバルトガラス顔料（スマルト・花紺青）の使用事例
◎寺島海（東京藝術大学）、荒井経（東京藝術大学）、貴田啓子（東京藝術大学）
- ◇ P069 台湾における伝統建築の木質構造部材の樹材種に関する研究 - 清時代から日本統治時代にかけて
◎李長蔚（国立台湾芸術大学）、詹明勳（国立嘉義大学）、蘇沛琪（国立台湾芸術大学）
胡孝誠（国立台湾芸術大学）、張家依（国立台湾芸術大学）
- ◇ P070 大画面絹本軸装作品の修理における材料選択について
◎星育子（株式会社文化財保存）、今田淳（株式会社文化財保存）、小川礼（株式会社文化財保存）

- ◇ P071 染織品修復教育で用いる教材の長期的保存・活用を目的とした安定化処置とマウント制作
◎松田泰典（東洋美術学校）、李芝菱（東洋美術学校）、大内那緒（東洋美術学校）
横山翠（東洋美術学校）、水落貴志（東洋美術学校）、小野慎之介（東洋美術学校）
- ◇ P072 保管状態の異なる小麦デンプンを原料とした糊の物性の差異について
◎早川典子（東京文化財研究所）、永谷智恵（東京文化財研究所）、大和あすか（東京文化財研究所）
趙依寧（東京文化財研究所）、山田祐子（東京文化財研究所）
- ◇ P073 絹本絵画の肌裏紙に用いられていた色糊について
～ 遍明院所蔵・重要文化財絹本著色 仏涅槃図（八相涅槃）の修理を中心に～
◎沖本明子（株式会社光影堂）、降幡順子（京都国立博物館）
- ◇ P074 宋時代の剔犀漆器《屈輪合子》の保存修復方法に関する研究 ―劣化促進実験に基づく―
◎馬明新（中国国家博物館）、松本達弥（東京藝術大学）
- ◇ P075 合板に貼られた日本画の修復
◎岩崎太成（岩崎精正堂）、西尾喜行（ニシオ・コンサーベーション・スタジオ）、小谷野匡子（株式会社絵画保存研究所）
- ◇ P076 キャンバスの破れに生じた隙間の修正 -Trecker 装置の作製と使用-
◎土師広（土師絵画工房）
- ◇ P077 ウェットクリーニング時の水分コントロールのためのジェランガムの利用
◎小野慎之介（東洋美術学校）、古谷未緒（東洋美術学校）、岸創哉（筑波大学）、松田泰典（東洋美術学校）
- ◇ P078 有機溶媒高含有ゲルを利用した文化財クリーニング方法の検討
◎秋山花子（東京藝術大学）、一宮八重（東京藝術大学）、早川典子（東京藝術大学）
- ◇ P079 溶菌酵素入り寒天ゲルを使用した日本画のしみ抜き
◎小谷野匡子（株式会社絵画保存研究所）、大川美香（株式会社絵画保存研究所）、早川典子（東京文化財研究所）
- ◇ P080 正倉院宝物・甘竹簾の再修理における酵素トリプシンの応用
◎永田大輔（宮内庁正倉院事務所）、福森弘（宮内庁正倉院事務所）、中村力也（宮内庁正倉院事務所）
- ◇ P081 瓦種に応じた GEL とレーザーによる黒色汚れのクリーニング
◎野中昭美（東京国立博物館）、マーティン クーパー（Lynton Lasers Ltd.）、市元壘（東京国立博物館）
- ◇ P082 海水損紙資料に出現した微生物由来の赤色素の再現とクリーニング方法の検討
◎仁木真奈美（東京藝術大学）、佐藤嘉則（東京文化財研究所）、貴田啓子（東京藝術大学）
- ◇ P083 古代エジプトの金箔加飾された木製品から汚れを除去するための
レーザークリーニングの効率評価に関する研究
◎モハメド ムスタファ（東京藝術大学）、岡田靖（東京藝術大学）
エヴドキア ディミトロウラキ（電子構造・レーザー研究所 (IESL-FORTH)）
クリスタリア メレサナキ（電子構造・レーザー研究所 (IESL-FORTH)）
パラスケヴィ プーリ（電子構造・レーザー研究所 (IESL-FORTH)）
- ◇ P084 美術工芸品などに用いられた釘を抜く - くぎ引抜き抵抗でみる熱膨張の影響評価 -
◎大西智洋（合同会社大西漆芸修復スタジオ）、松井敏也（筑波大学）
- ◇ P085 大正期印刷物の劣化促進試験 - 脱酸処理の有効性と保存方法の検討 -
◎長谷川純子（鳴門市ドイツ館）
- ◇ P086 水浸させた紙試料の湿熱殺菌処理における物性変化
◎小野寺裕子（東京文化財研究所）、貴田啓子（東京藝術大学）、佐藤嘉則（東京文化財研究所）
- ◇ P087 油彩画支持体としての和紙の研究 ― 膠処理の影響と効果 ―
◎鳥越義弘（横浜美術大学）
- ◇ P088 モンゴル前近代の文書料紙の復元的研究 - 毛頭紙を中心に -
◎ドルジプレフ オトゴン（京都芸術大学）、大林賢太郎（京都芸術大学）
- ◇ P089 紙漉きに用いるネリの粘弾性評価 - トロロアオイとノリウツギの違い
◎西田典由（東京文化財研究所）、河西隆太（株式会社アントンパール・ジャパン）
新井田萌重（株式会社アントンパール・ジャパン）、貴田啓子（東京藝術大学）、早川典子（東京文化財研究所）
- ◇ P090 明治初期の洋紙製造技術の一考察 - 地券用紙の材質調査を中心に -
◎李姫静（京都芸術大学）、増渕麻里耶（京都芸術大学）、大林賢太郎（京都芸術大学）

- ◇ P091 微細セルロースファイバーによる強化処理前後の紙の官能評価
◎小瀬亮太（東京農工大学）、池田昌矢（東京農工大学）、園田直子（国立民族学博物館）
岡山隆之（東京農工大学）、関正純（高知県立紙産業技術センター）
- ◇ P092 日本における最初期洋紙の研究－改正地券紙の変色劣化のメカニズムの解明－
◎大林賢太郎（京都芸術大学）、磯貝基平（株式会社坂田墨珠堂）、李姫静（京都芸術大学）、山下わかな（京都芸術大学）
- ◇ P093 障壁画下貼紙の劣化と組子内の有機酸量
◎貴田啓子（東京芸術大学）、高林弘実（京都市立芸術大学）
岡村知明（京都市文化市民局元離宮二条城事務所）、高取伸光（京都大学）、小椋大輔（京都大学）
- ◇ P094 光熱費削減を目的とした新博物館における空調の稼働条件の検討
◎山崎正彦（光明理化学工業株式会社）、新郷英弘（芦屋町立芦屋釜の里資料館）
- ◇ P095 収蔵庫の狭隘化解消と保管環境改善に向けた什器検討に関する報告
－台東区立したまちミュージアムのリニューアル整備を事例として－
◎一ノ瀬裕行（株式会社丹青研究所）、高瀬裕紀（株式会社丹青研究所）
本田弘子（台東区立したまちミュージアム（旧台東区立下町風俗資料館））
近藤剛司（台東区立したまちミュージアム（旧台東区立下町風俗資料館））
倉持昌幸（株式会社丹青社）、渡辺友樹（金剛株式会社）、山崎美穂（金剛株式会社）
- ◇ P096 上淀白鳳の丘展示館における資料展示環境の調査
◎杉山智昭（奈良大学）、高橋奈々美（奈良大学）、山崎正彦（光明理化学工業株式会社）
- ◇ P097 近現代美術作品の輸送、温湿度管理、状態調査における環境負荷軽減の試みと諸課題
◎相澤邦彦（ヤマト運輸株式会社）
- ◇ P098 アセートフィルムの劣化に関する研究史調査から考察する最適な保管条件の検討
◎石井昭光（株式会社足柄製作所）、藤田聖矢（株式会社足柄製作所）
- ◇ P099 文化財を保管する土蔵の環境改善に向けた基礎的調査
◎河村友佳子（国立民族学博物館）、日高真吾（国立民族学博物館）、橋本沙知（国立民族学博物館）
園田直子（国立民族学博物館）、末森薫（国立民族学博物館）、和高智美（合同会社文化創造巧芸）
岡岩太郎（株式会社岡墨光堂）
- ◇ P100 木材だけによる湿度制御の試み - 空調機のない文化財施設での実施例 -
◎森谷朱（東北歴史博物館）、芳賀文絵（東京文化財研究所）
嵯城花佳（東北歴史博物館）、及川規（宮城学院女子大学）
- ◇ P101 新たな文化財害虫と考えられるヒメハキリバチによる建造物被害
◎島田潤（東京文化財研究所）、轟丈瑠（東京文化財研究所）
山田紀代美（東京文化財研究所）、佐藤嘉則（東京文化財研究所）
- ◇ P102 ニュウハクシミの体サイズ分布の季節変化
◎渡辺祐基（九州国立博物館）、木川りか（九州国立博物館）、トム ストラング（カナダ保存研究所）
- ◇ P103 美術館における IPM の一環としての落下真菌調査 :7 年間の記録から
◎小田尚幸（株式会社エフシージー総合研究所）
- ◇ P104 一時保管施設の生物被害対策に対する課題の抽出とその対策
◎小峰幸夫（文化財防災センター）、上相英之（文化財防災センター）、多仁照廣（若狭路文化財研究所）
- ◇ P105 校倉内におけるトビムシ類の季節消長
◎高畑誠（宮内庁正倉院事務所）
- ◇ P106 ATP 測定法を用いた収蔵環境の清浄度評価と維持管理基準の提案
◎轟丈瑠（東京文化財研究所）、山田紀代美（東京文化財研究所）、佐藤嘉則（東京文化財研究所）
- ◇ P107 ジアソタイプ複写物の実資料から揮発するアンモニアの濃度
◎千徳佐和子（東京芸術大学）、貴田啓子（東京芸術大学）
- ◇ P108 文化財施設で使用するコンクリートから放散するアンモニア評価方法の検討
◎山本拓弥（戸田建設株式会社）、栗木茂（戸田建設株式会社）
- ◇ P109 パッシブインジケータを用いた VOC 等オフガスの少ない展示用材料のスクリーニング
◎和泉田絢子（国立文化財機構文化財防災センター）、渡辺祐基（九州国立博物館）
木川りか（九州国立博物館）、穴井恵理（九州国立博物館）、桑原紀久美（九州国立博物館）
奥島希子（九州国立博物館）、川畑憲子（九州国立博物館）

- ◇ P110 アンケート調査から見た全国の博物館・美術館等の温湿度管理の現状と課題
◎秋山純子（東京文化財研究所）、伊庭千恵美（京都大学）
水谷悦子（東京文化財研究所）、由井和子（東京文化財研究所）
- ◇ P111 博物館・美術館等のアンケート調査による施設管理と改修の動向分析
◎水谷悦子（東京文化財研究所）、伊庭千恵美（京都大学）
秋山純子（東京文化財研究所）、由井和子（東京文化財研究所）
- ◇ P112 2024 年 7 月豪雨で被災した新庄ふるさと歴史センターの資料レスキュー
—山形文化遺産防災ネットワークの活動を中心に
◎土屋明日香（広重美術館）、佐藤琴（山形大学附属博物館）、川田健介（新庄ふるさと歴史センター）
松井敏也（筑波大学）、岸創哉（筑波大学）、中野実歩（筑波大学）
宮本晶朗（東北芸術工科大学）、元喜載（東北芸術工科大学）
- ◇ P113 能登半島文化財レスキュー事業における仏像彫刻の応急修復活動報告
◎松岡誠一（仏像文化財修復工房）
- ◇ P114 令和 6 年能登半島地震で被災した文化財の一時保管場所の環境整備 - 石川県珠洲市の事例から
◎橋本沙知（国立民族学博物館）、日高真吾（国立民族学博物館）、園田直子（国立民族学博物館）
末森薫（国立民族学博物館）、河村友佳子（国立民族学博物館）、和高智美（合同会社文化創造巧芸）

特別ポスターセッション

- 特1 「こころのインフラ」を守るために—高岡市美術館によるシンポジウムとコレクション展開催報告—
村上隆（高岡市美術館 館長）
- 特2 富山大学教育学部「子どもとのふれあい体験：歴史研究相談員コース」の活動紹介
中村只吾・安本史恵・岡田了祐（富山大学）、天野真志（国立歴史民俗博物館）
- 特3 2024 年能登半島地震における文化財保存修復学会の復興支援活動報告
災害対策調査部会（中村晋也、間瀬創、日高真吾、田井東浩平、黄川田翔、佐藤嘉則、天野真志）

会場案内



■大会 会場

富山国際会議場

〒930-0084 富山県富山市大手町1-2

<https://www.ticc.co.jp/access/>

口頭発表・総会会場：メインホール（3F）

特別ポスターセッション会場・ポスター発表会場・機器等展示会場：
多目的会議室（2F）、ホワイエ（3F）

JR 富山駅よりお越しいただく場合

■バス・・・約5分「城址公園前」下車 徒歩3分

■徒歩・・・城址大通りを南へ約15分

■市内電車（環状線）・・・約7分「国際会議場前」下車

■懇親会 会場

富山県民会館 バンケットホール

〒930-0006 富山県富山市新総曲輪4-18 8階

<https://www.bunka-toyama.jp/kenminkaikan/>

■富山国際会議場より徒歩約8分

第47回大会プログラム作成委員会

委員長：中村力也（宮内庁正倉院事務所）

副委員長：李ガン（東京学芸大学）

委員：相澤邦彦（ヤマト運輸株式会社）／池田和彦（株式会社修護）／貴田啓子（東京藝術大学）

佐藤嘉則（東京文化財研究所）／末森薫（国立民族学博物館）／杉山恵助（東北芸術工科大学）

野中昭美（東京国立博物館）／早川典子（東京文化財研究所）

間渕創（国立文化財機構文化財活用センター）／和田浩（東京国立博物館）

和高智美（合同会社文化創造巧芸）

（五十音順）

*お問い合わせや伝達事項につきましては大会事務局までご連絡ください。

文化財保存修復学会第 47 回大会 於富山

顧問：村上隆（高岡市美術館）

委員長：日高真吾（国立民族学博物館）

副委員長：和田浩（東京国立博物館）

委員：天野真志（国立歴史民俗博物館）／李ガン（東京学芸大学）／池田和彦（株式会社修護）／
大江克己（国立アイヌ民族博物館）／岡岩太郎（株式会社岡墨光堂）／貴田啓子（東京藝術大学）／
釘屋奈都子（刀剣博物館）／佐藤萌（東京国立博物館）／杉山恵助（東北芸術工科大学）／
中村只吾（富山大学）／中村晋也（金沢学院大学）／野中昭美（東京国立博物館）／
藤澤明（帝京大学）／和高智美（合同会社文化創造巧芸）（五十音順）

大会事務局：〒 530-0044 大阪府大阪市北区東天満 2-7-12 スターポート 株式会社アステム気付
一般社団法人文化財保存修復学会大会実行委員会事務局

URL：https://jsccp.astem-co.co.jp/taikai47E-mail：taikai47@astem-co.co.jp

TEL：06-6354-6188

担当者は開催 2 か月前から常駐予定（セカンドサーキュラー公開後の平日 10 時～ 17 時）。

それ以前につきましては用務に応じたの在席となりますので、お問い合わせは、なるべくメールにてお願いいたします。

学会事務局：〒 110-0008 東京都台東区池之端 4-14-8-102 特定非営利活動法人文化財保存支援機構気付

TEL：03-6661-2982 FAX：03-6661-2983

本学会は学会事務と大会開催事務を別業務として行っています。

学会事務局には大会担当者はおりませんので、開催についてのお問い合わせは大会事務局へお願いいたします。